



合言葉

学校だより



# 「チーム中部中」

令和4年 1月28日

令和3年度 第10号

文責

平戸市立中部中学校

校長 甲斐田 彰

校訓

自主

規律

責任

学校教育目標

ゆたかな心情

たしかな学力

たくましい心身

自主規律責任

## 【最後の学期の始まり】

いよいよ、令和4年が始まりました。今年、長崎県では県知事選挙が、全国的には参議院選挙が実施されます。また、秋には長崎・武雄間に新幹線が開通します。そして世界的には来月から北京オリンピック・パラリンピックが開催されます。コロナ禍ではありますが、きっと私たちに感動を与えてくれることでしょう。

1月11日(火)3学期の始業式が行われました。私のあいさつでは、フィギュアスケートの羽生結弦選手の活躍の源が「責任感」であることを紹介し、3学期は「責任」を意識した行動をとることを呼びかけました。

また、1年生の村田隆惺さん、2年生の谷浦志琉さん、3年生の片山剛さんが、決意の言葉を述べてくれました。どの生徒の発表も**最後の学期の始まり**にふさわしく、意欲に満ちたものでした。

特に、村田さんは「3か月後には新1年生が入学してくるので、先輩としてしっかりと背中を見せたいです。宿題や提出物などの期日を守ることを**凡事徹底**します。」と張り切っていました。



## 【備えることの大切さ】

1月15日(土)のトンガの海底火山噴火に続き、1月22日(土)には日向灘で地震が発生しました。平戸市でも、災害が発生する可能性は常にあります。

平戸島版ハザードマップによると、本校の第2校舎及び体育館付近は、土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)に指定されています。

そこで、1月25日(火)「前日まで大雨が降り続けている中、長崎県北部を震源とする地震が発生した。1年生は第2校舎1階技術室、2年生は体育館、3年生は第2校舎2階音楽室で授業中である。」という設定で避難訓練を実施しました。

今回は、コロナ感染症対策のため、全体指導は無しで、安全避難経路の確認を中心に行いましたが、どの学年も真剣に取り組んでいました。3年生の松口幸樹さんは「実際の災害で、落ち着いて行動できるか不安もあります。だからこそ、いざという時のために、しっかりと**備えることの大切さ**を感じました。」と訓練を振り返ってくれました。



## 【引き継ぐ思い】

1月13日(木)生徒会役員任命式及び引き継ぎ式が実施されました。

新役員への任命にあたり、「生徒会役員を頭(ブレイン)とし、生徒会会員である生徒一人一人が、手の役割、足の役割、心臓の役割を果たすことで、学校生活の進歩向上を図ってください。」という言葉を送りました。

その後、前生徒会長と新生徒会長があいさつし、「校旗」と「専門委員会ファイル」の引き継ぎを行いました。中田前会長から「校旗」を引き継いだ森崎新会長は、「校旗の重さを感じた時は、当選した時以上に『頑張ろう』という実感が湧いてきました。校旗と同時に先輩たちが築いてきた伝統を**引き継ぐ思い**です。」と語ってくれました。



## 【夢を実現するための第一歩】

1月15日(土)の佐世保高専の推薦入試を皮切りに、九州文化学園、西海学園、佐世保実業、聖和女子学院など私立高校の入試が行われました。

そして、いよいよ2月2日(水)には公立高校の前期選抜検査が実施されます。前期選抜はほとんどの高校が基礎学力検査(60分で国語・数学・英語の3教科)と集団面接です。受験生諸君には、これまで学習や練習してきた成果を存分に発揮してくれることを期待しています。

前期選抜を受検する林生織さんは、「高校に合格することは、放射線技師になるという将来の**夢を実現するための第一歩**なので、絶対に合格するように頑張ります。」と力強く決意を述べてくれました。



学校だより「チーム中部中」は本校ホームページにカラーで掲載されています。